

平成25年3月31日

明浄学院高等学校

平成25年度 実践目標自己評価結果報告

テーマ	生徒にとって「安全・安心・信頼」の学校運営を目指す
目標（ねらい）	「学校は生徒のためにある」という職員意識の涵養

A：良くあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	実践目標	A	B	C	D
学校運営	教職員連携	教員・教科間連携状況	教員間教科間の互換理解がなされ、信頼関係の基づく教育活動を進める。	32% 15	43% 20	21% 10	4% 2
		会議の有効性	職員会議をはじめ各種会議を有効に機能させる。	23% 11	30% 14	45% 21	2% 1
生徒	生徒支援	学習指導について	学習指導において生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行う。	47% 22	42% 20	11% 5	0% 0
		進路指導について	生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができる支援体制を整える。	36% 17	51% 24	13% 6	0% 0
	生徒指導	生活指導について	生徒の生活指導において、教員の統一した見解を持ち、指導にあたる。	64% 30	32% 15	4% 2	0% 0
		家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密に行い。信頼関係を築く。	60% 28	32% 15	8% 4	0% 0
教育	生徒会活動	生徒会活動支援状況	生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できる支援を行う。	68% 32	21% 10	11% 5	0% 0
	その他	部活動	強化クラブを中心に部活動を活性化させ、学校の活性化を図る。	68% 32	23% 11	9% 4	0% 0

学校長所見	<p>本年度の生徒総数は 637 名となり数年来の最高値であり、収支改善に大いに寄与した。「躰・和心・グローバル」を行動指針とし、教育活動・特別活動に取り組んだ。本校は専願率が高く、目的意思が明確で生徒個々のロイヤリティは大変に高いものがある。部活動が盛んで生徒の通学圏も近畿圏に及び、地域性が融合し良い効果を発揮している。生徒の気質は華美に走らず質実剛健で他者を思いやる良き伝統が涵養されている。問題行動も皆無に等しく、伸び伸びと学校生活を謳歌している。マスコミを騒がすようないじめ事例は皆無であるが、ソーシャルメディアが起因するいじめ事案には万全の注意を以て望みたい。生徒の満足度と学校における安全安心こそが教育の基本と心得る。</p>
平成26年に向けて	<p>教育課程改定の目玉である中国語、韓国語をもって、本校の特徴である国際理解教育の強固なツールとし、ユネスコスクール世界大会の幹事校としての職責を果たしたい。伝統教育を体現すべく導入する茶道、華道を情操教育の一環として息長く育てていきたい。</p> <p>大津市の中学校での卑劣極まりない、いじめと称する陰湿な暴力事案による、いたいけない生徒の自殺、大阪の市立高校運動部での教師による部員への体罰と称する傷害致死事案など等、学校の暗部が白日の下に晒し出され、同種事案は後を絶たない。これらは氷山の一角であり、小学校から大学まで4万を数えるわが国の学校にどれほどの同一事案が潜んでいるか、考えただけでも暗澹たるものがある。学校人としてこれらを他山の石とし、生徒個々のメンタル面も含め安全安心な学校運営を心掛けたい。</p>